



# 学校だより

横浜市立末吉小学校

令和2年度

6月号



## 学校再開にむけて

学校長 本庄 則子



約3か月間にわたって続いた横浜市立学校の臨時休業。緊急事態宣言の全面解除を受けて、6月から段階的に再開をすることになりました。ほっとしている反面、十分な感染防止をするためには様々な対策をたてる必要があり、今までにも増して気を引き締めています。

5月25日には、学校のピロティーや昇降口を利用して、課題配布を行いました。子どもたちは、落ち着いた様子で「おはようございます」「こんにちは」と正門を歩いていきました。マスクをつけ、友達と距離をおいて待つことにも慣れてきたようです。短い時間ですが、子どもたちと担任のコミュニケーションもとれました。人と人の距離はソーシャルディスタンスを保ちますが、心と心は通じていけるようにしていきたいと思っています。

### ○学校の段階的再開

6月第1週2週は、生活リズムを取り戻し、学校生活に慣れることを目標に、1日おきの登校としています。学校に登校しない日も課題が出ますので、同じ時間に起きて学習をするとリズムがつかみやすくなります。3週目からは午前授業で、毎日全員が登校します。

### ○新しい生活様式（衛生面での配慮）

学校においても、「新しい生活様式」が必須です。3密を避ける・マスクの着用・手洗いなどの基本を子どもたちが身に付けられるようにしていきます。休み時間をずらす・授業時間ごとに換気をする・混雑を避けるために正門だけでなく西門も使用する・児童下校後は教室や水道手すりなどを消毒する などに加えて、学習用具の貸し借りはしない・人と距離をとって並ぶ・身体接触はなるべく避けるなどの新しいルールを実行することで、安全な学校生活をすごせるようにします。

### ○学習の進め方

学習については、子どもたちの様子を注意深く見守りながら進めていきます。未履修がないように年間計画を見直していますが、例えば調理実習のように、このままでは学校での実施が難しい学習もできます。ICTを活用する、ご家庭の協力をお願いする、中学校と連携していくなど、様々な方法を模索しています。ただ、時間数を稼ぐのではなく、子どもたちが理解をし、興味をもって学べるように、現状でできる授業の工夫を続けていきます。

### ○行事等

現在、見直しをしています。横浜市や鶴見区の行事、学校行事、宿泊体験、地域の方々や幼稚園保育園との交流など、これからの感染状況も踏まえながらの判断となります。中止ありきではもちろんありませんが、PTAの方々とも話し合い、必要かつ十分な感染対策をとれない場合は難しいものもあると考えています。こまめに発信していきますので、ご理解のほどお願い申し上げます。

地域にお住まいのみなさま、休業中も子どもたちを見守っていただき、ありがとうございます。本年度は「例年通り」がなかなか通用しませんが、連携しながら、この状況下での教育活動の工夫、充実を図っていきたくと考えております。

ご家庭でも、朝の検温と健康観察、登校時からのマスクの着用、水道の混雑を避けるための水筒持参など、ご協力いただくことがたくさんあります。

子どもたちの安心安全のため、どうぞよろしく願いいたします。